

報道関係各位

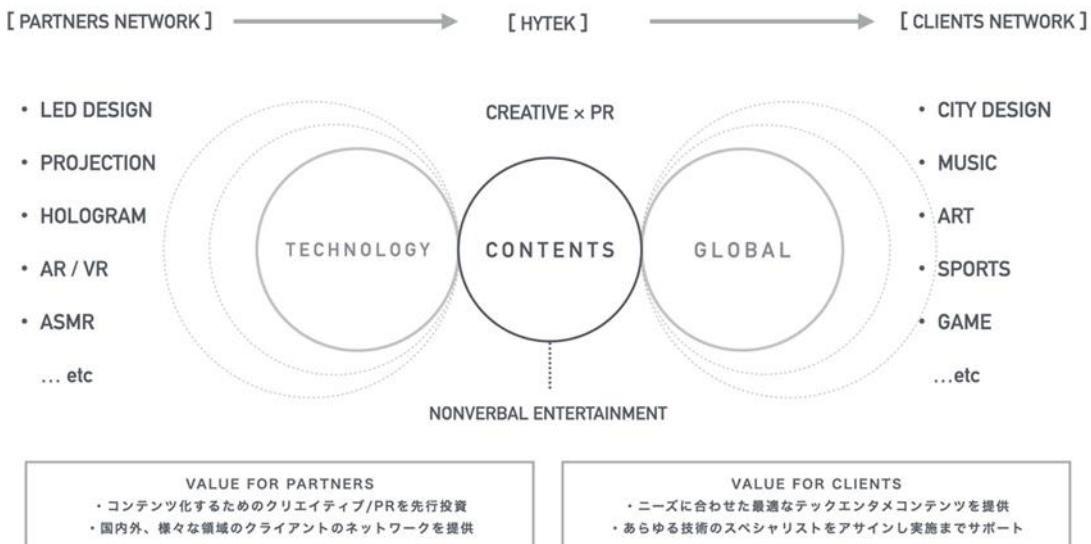
2020年7月22日  
株式会社博報堂DYホールディングス

## 博報堂DYホールディングス、 言葉の壁を超えたテックエンタメコンテンツを共創し、 グローバル展開を目指す「HYTEK 設立準備室」を設置

株式会社博報堂DYホールディングス（東京都港区、代表取締役社長：水島 正幸）は、エンターテインメント領域においてテクノロジーベンチャー企業（以下、テックベンチャー）と共にテクノロジーを活用したコンテンツの共創を目指す「HYTEK（ハイテク）設立準備室」（以下、HYTEK）を設置いたしました。

コロナ禍の環境の中、エンターテインメント業界はリアルイベントの自粛要請に伴い、大きな影響を受けました。その状況下でも、オンラインでのライブ配信やバーチャル空間でのイベントなど、テックベンチャーが開発したテクノロジーを活用した新しい体験が生まれてきています。この領域の変化に対応し、海外も含めたビジネスチャンスと次世代のエンターテインメントを創出することを目的として、この準備室を設置いたしました。

HYTEKはテックベンチャーの保有する高い技術力と、博報堂DYグループの持つクリエイティブ・PR力を掛け合わせ、AR/VR技術やホログラム、プロジェクション、LED造作などの最先端テクノロジーを活用した非言語のコンテンツを共創し、グローバルでの新しいエンターテインメントの展開を目指します。



具体的にはテックベンチャーに向けたコンサルティング業務を行い、コンテンツを共創し世界中に発信するとともに、ニーズに合わせた最適なコンテンツを提供することにより、国内外のクライアント企業の課題解決も支援してまいります。

すでに、パートナーとなる複数のテックベンチャーとは、LED 搭載マスクを用いたコロナ禍での新しいパフォーマンスや、プロジェクトマッピングを用いた共創アート作品等の開発を進めています。

今後も、博報堂DYグループ内の連携をさらに強化し、HYTEK 設立に向け準備を進めてまいります。

---

＜本件に関するお問い合わせ先＞

博報堂DYホールディングス グループ広報・IR室 西尾・戸田 03-6441-6161

（事業に関するお問い合わせ） HYTEK 設立準備室 満永・道堂 03-6441-9086

問い合わせメールアドレス：[hytek@hakuhodody-holdings.co.jp](mailto:hytek@hakuhodody-holdings.co.jp)

## 【参考資料】

### HYTEK（ハイテク）設立準備室概要

博報堂DYグループ横断社内公募型ビジネスアイデア募集・育成プログラム、「AD+VENTURE（アドベンチャー）」<sup>1</sup>」2019年度の採択事業。

- ステートメント：「HIGH」な TECHNOLOGY を「HYPE」な TECHNOLOGY へ。

HYTEK は、パートナー企業と共に創したコンテンツが集積する、テックエンターテインメントレベルです。“HY”は人々を熱狂させるという俗語“HYPE”に、“TEK”は“TECHNOLOGY”的略語として1990年代に米国の音楽プロデューサーが使用した俗称に由来しています。世界に認知されていない「ハイテク」な技術を、クリエイティブとPRの力で「言語の壁を超えた」エンターテインメントコンテンツへと昇華し、その魅力を世界中へと発信します。

- 代表/Cultural Contents Director：満永 隆哉

2015年博報堂入社。関西支社クリエイティブ・ソリューション局プロモーション・PR戦略グループを経て、2018年に第二クリエイティブ局に異動。グローバルクライアントのPR・プロモーション・コピーライティングを担当し、ACC・OCC新人賞・販促会議賞・JAA広告賞・朝日広告賞など受賞。パフォーミングアーティストとしても国内外で活動を行い、NBA公式戦・TEDxKEIO・音楽イベントなどのステージに出演。エンターテインメントの表舞台と裏方と、マスとストリートとを繋ぐことを目標に活動。現在は、HYTEK設立準備室立ち上げを専任。

- 代表/Technology Contents Director：道堂 本丸

2015年博報堂に入社。研究開発局に配属。2018年から1年半、TBWA HAKUHODO プラニング局に所属。現在は、HYTEK設立準備室立ち上げを専任。大学時代に、ウェアラブルコンピューティングを活用したダンスパフォーマンスシステムの開発に関わる。マーケティングツールの開発やデータ分析に従事する傍ら、ARやVRなどの新しいテクノロジーを活用した次世代顧客接点の研究開発などに携わる。大学やベンチャーの持つテクノロジーの種と企業のビジネスの種を結び付けた事業創造を目指す。2016～2019ミラノサローネ出展。

- URL：<https://www.hYTEK.co.jp>
- メール：[hYTEK@hakuhodody-holdings.co.jp](mailto:hYTEK@hakuhodody-holdings.co.jp)

HYTEK設立準備室の立ち上げに伴い、“生活者データ・ドリブン”マーケティング通信（<https://seikatsusha-ddm.com/>）にて、8月初旬からエンターテインメントの未来について様々なクリエイターやプレイヤーと語り合う対談の連載が始まります。第一弾は、立ち上げに至った経緯、エンターテインメントに対する想いをHYTEK設立準備室の二人が語ります。

---

<sup>1</sup> 「AD+VENTURE（アドベンチャー）」について

2010年に、博報堂DYホールディングスが事業会社である博報堂、大広、読売広告社、博報堂DYメディアパートナーズとともに開始し、現在は博報堂DYグループ傘下の59社を横断する社内公募ビジネスアイデア募集・育成プログラム。現在までに19のベンチャー会社を産み出し、30人以上の起業家を輩出している。